

Kenshin
Mini
Disclosure
2004.9.30

けんしんの現況





平素より長野県信用組合(通称けんしん)をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
ここに平成16年度9月期の中間決算がまとまりましたので、ミニディスクロージャー誌をととのえました。
ご高覧を賜り当組合の現況をご理解いただければ幸いです。

平成16年度上半期の国内経済は、輸出や設備投資の主導から大企業の製造業を中心に景気回復の裾野が広がりにつつありましたが、景況は2極分化が鮮明となり、長野県経済とりわけ中小企業においては未だ回復感の薄い状況となっております。

この環境下、当けんしんは、あらゆる面にわたり健全経営に徹してまいりました。その結果、所期の成果を達することができました。

今後、下半期におきましても、金融機関を取り巻く経営環境には厳しい状況が予想されますが、私どもは、皆さまの信頼にお応えするため「収益力のアップと財務体質の強化」を一層推し進めるとともに、多様化するお客様ニーズを常に先取りし、新商品・新サービス・システム開発に絶えず取り組んでまいります。また、個人情報保護法など法令遵守への迅速・的確な対応や、リスク管理・人材育成の強化など内部体制を強化しつつ、地元企業の再生や創業支援に積極的に取り組み地域経済の活性化にも鋭意努める所存です。

どうか皆さまには、今後とも何分のご高配、ご利用をお願い申しあげ、ごあいさつといたします。

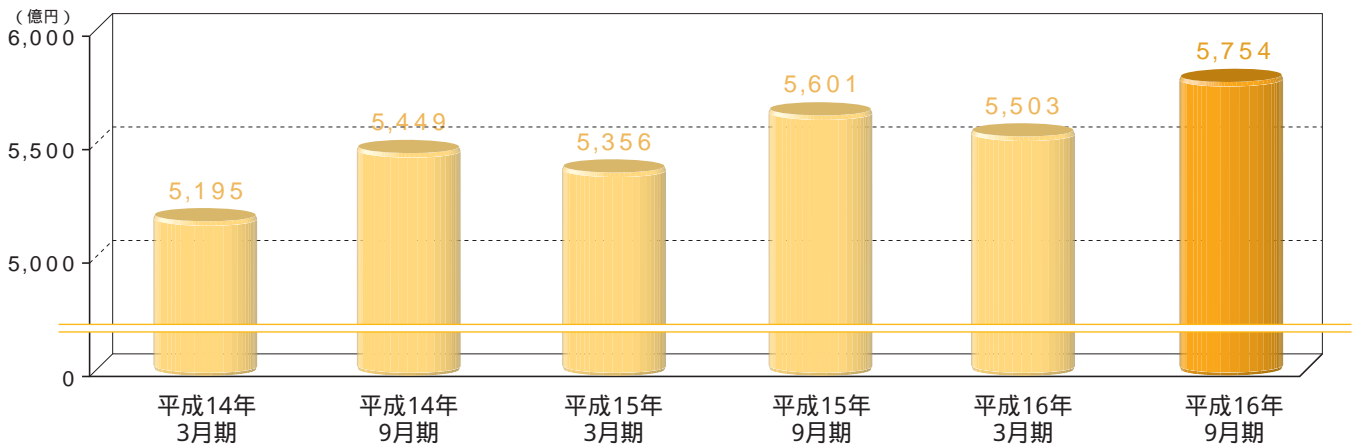
平成16年10月

理事長 堀 勸

預金、貸出金の推移

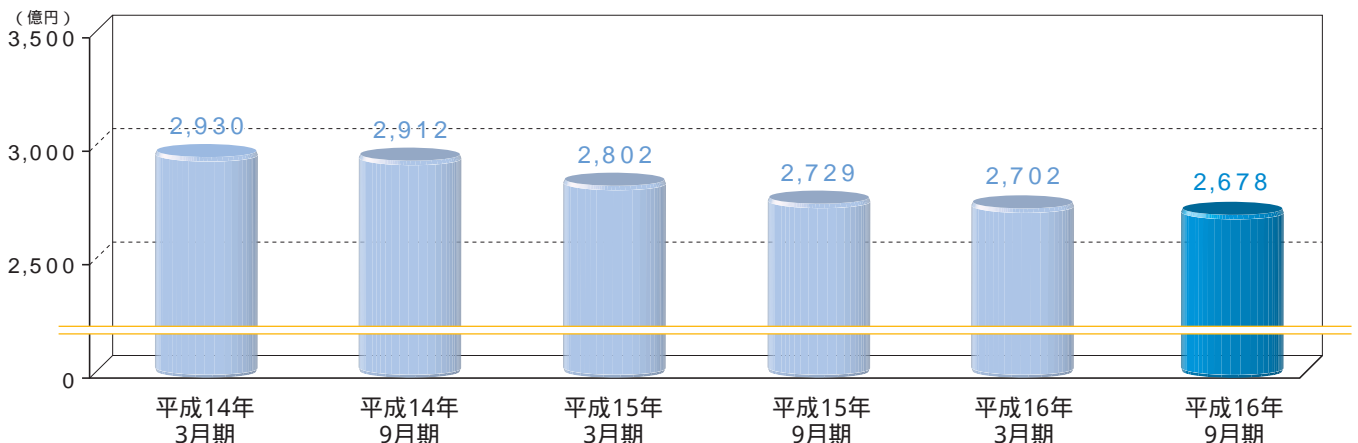
預金

個人層を中心に取引基盤の強化・拡大に努めた結果、総預金残高は前年同期比153億円増加しました。



貸出金

住宅関連融資は堅調に推移し、企業の資金需要も回復基調にあるため、総貸出金残高は前年同期比51億円の減少に留まりました。

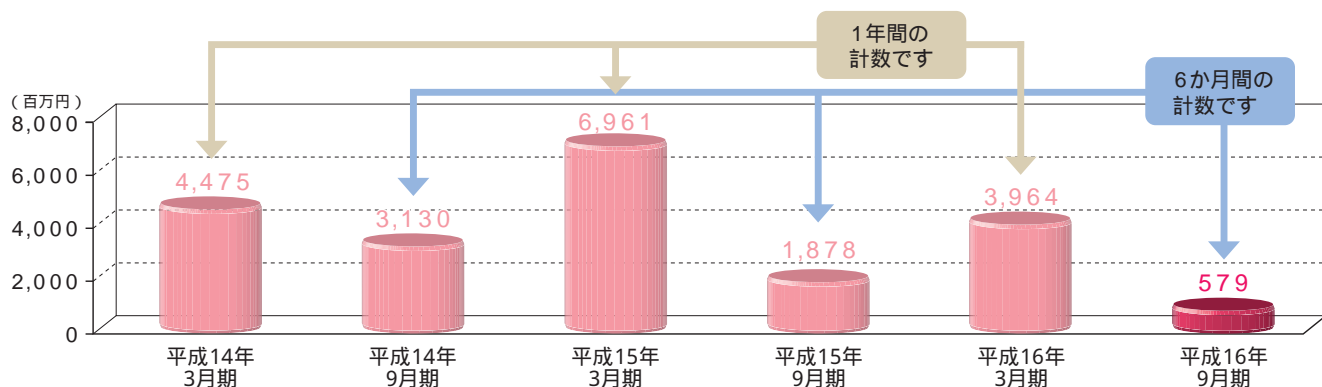


決算損益の推移

(注)9月期は、4月から9月までの6か月間の計数を記載しております。

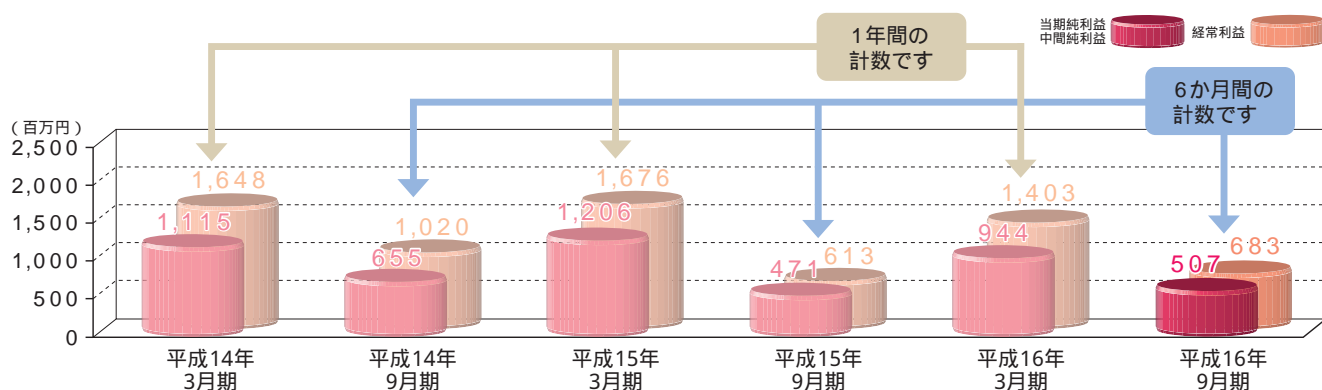
業務純益

市場金利上昇による金利リスクを軽減するため、国債等債券売却損を19億円計上したことを主因として、業務純益は前年同期比12億99百万円減少し5億79百万円となりました。

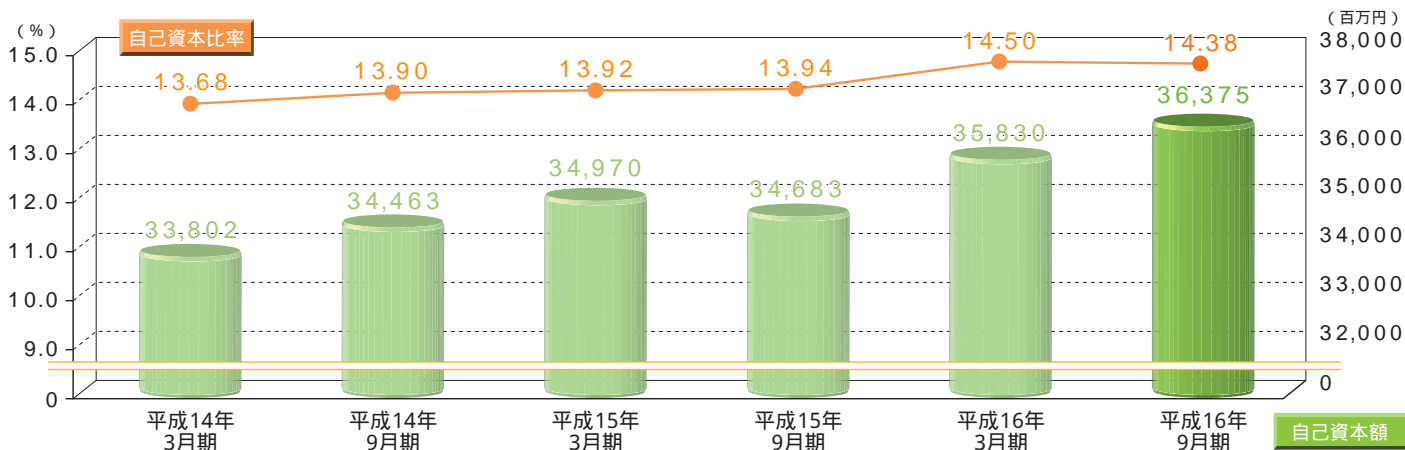


経常利益・当期純利益 中間純利益

業務純益は減少したものの、不良債権処理額の減少及び有価証券運用益の増加等により経常利益は前年同期比70百万円増加し6億83百万円、中間純利益は前年同期比36百万円増加し5億7百万円となりました。



自己資本比率・自己資本額の推移



自己資本比率及び自己資本額は、協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づく算出数値です。

自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の体力を示す最も重要な指標であり、損失が発生する可能性のある資産総額(リスク・アセット)に対して、自己資本(返済の必要が無い資本)の占める割合を表わしています。この比率が高いほど、自己資金が豊富にあり経営基盤がしっかりしているといえます。けんしんの自己資本比率は、国内のみで営業を行う金融機関に必要とされる4%(国内基準)の3倍を上回ると同時に、国際基準で求められている8%をも超えています。

リレーションシップバンキングについて

当組合では、金融庁より公表された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に基づき「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を策定し、地域金融の円滑化に取り組んでおります。

詳細につきましては、当組合ホームページに「リレーションシップバンキング機能強化計画の要約」を掲載しております。

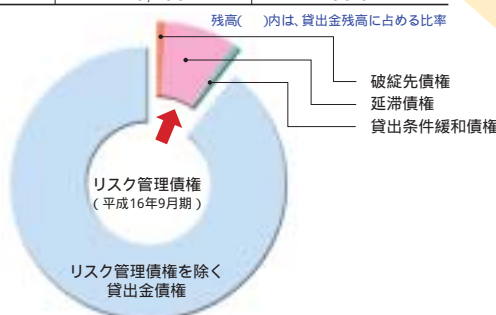
不良債権の状況

(単位:百万円、%)

リスク管理債権及び同債権に対する保全額

区分		残高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 {(B+C)/A×100}
破綻先債権額	平成16年3月期	4,029 (1.49)	1,391	2,638	100.00
	(部分直接償却を実施した場合)	1,679 (0.63)	1,391	288	100.00
延滞債権額	平成16年9月期	2,107 (0.78)	754	1,352	100.00
	(部分直接償却を実施した場合)	974 (0.37)	754	219	100.00
3か月以上延滞債権額	平成16年3月期	23,864 (8.83)	12,921	8,858	91.26
	(部分直接償却を実施した場合)	19,729 (7.47)	12,921	4,724	89.43
貸出条件緩和債権額	平成16年9月期	22,945 (8.56)	11,840	8,924	90.49
	(部分直接償却を実施した場合)	18,585 (7.08)	11,840	4,565	88.26
合計	平成16年3月期	31,290 (11.57)	15,823	12,009	88.94
	(部分直接償却を実施した場合)	24,805 (9.40)	15,823	5,524	86.06
合計	平成16年9月期	27,757 (10.36)	13,900	10,661	88.48
	(部分直接償却を実施した場合)	22,265 (8.48)	13,900	5,169	85.64

- (注) 1. 「破綻先債権」とは、元本又は利息の支払いの遅延が相当期間継続していること、その他の理由により、元本又はその他の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金のうち、会社更生法、民事再生法、破産法、商法の規定による整理開始又は特別清算開始の申立てがあった債務者及び手形交換所による取引停止処分を受けた債務者に対する貸出金です。
2. 「延滞債権」とは、元本又は利息の支払いの遅延が相当期間継続していること、その他の理由により、元本又はその他の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金のうち、前記破綻先債権及び経営再建等を図ることを目的として、利息の支払いを猶予したもの以外の貸出金です。
3. 「3か月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものです。
4. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払い猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権及び3か月以上延滞債権に該当しないものです。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づく担保の処分可能見込額及び保証等による回収が可能と認められる額です。また、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権の「担保・保証等(B)」は、当該債権額と当該債務者の総貸出金額の比率按分により求めております。
6. 「貸倒引当金(C)」は、リスク管理債権区分の各項目の貸出金に対して引き当てた金額を記載しており、リスク管理債権以外の貸出金等に対する貸倒引当金は含まれておりません。



各区分ごとに参考数値を記載しております。

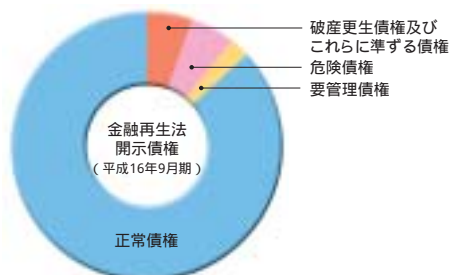
部分直接償却について

当組合は、部分直接償却を実施しておりません。部分直接償却を実施した場合は、表記のとおりとなります。部分直接償却とは、自己査定により回収不可能または無価値と判定された担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(分類債権額)を取立不能見込額として、債権額から直接減額することです。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

区分		残高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D=B+C)	保全率 (D/A×100)	貸倒引当金引当率 {C/(A-B)×100}
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成16年3月期	14,411	6,449	7,961	14,411	100.00	100.00
	(部分直接償却を実施した場合)	7,923	6,449	1,473	7,923	100.00	100.00
危険債権	平成16年9月期	12,608	5,757	6,851	12,608	100.00	100.00
	(部分直接償却を実施した場合)	7,112	5,757	1,355	7,112	100.00	100.00
要管理債権	平成16年3月期	13,697	8,039	3,557	11,597	84.66	62.88
	(部分直接償却を実施した場合)	13,697	8,039	3,557	11,597	84.66	62.88
不良債権合計	平成16年9月期	12,686	7,042	3,445	10,488	82.66	61.04
	(部分直接償却を実施した場合)	12,686	7,042	3,445	10,488	82.66	61.04
正常債権	平成16年3月期	3,396	1,510	512	2,022	59.55	27.15
	(部分直接償却を実施した場合)	3,396	1,510	512	2,022	59.55	27.15
合計	平成16年9月期	2,704	1,305	384	1,689	62.47	27.47
	(部分直接償却を実施した場合)	2,704	1,305	384	1,689	62.47	27.47
不良債権合計	平成16年3月期	31,505	16,000	12,031	28,031	88.97	77.59
	(部分直接償却を実施した場合)	25,017	16,000	5,543	21,543	86.11	61.47
正常債権	平成16年9月期	28,000	14,104	10,681	24,786	88.52	76.87
	(部分直接償却を実施した場合)	22,504	14,104	5,185	19,290	85.71	61.73
合計	平成16年3月期	241,137	241,137				
	(部分直接償却を実施した場合)	241,137	241,137				
合計	平成16年9月期	241,970	241,970				
	(部分直接償却を実施した場合)	241,970	241,970				
合計	平成16年3月期	272,643	272,643				
	(部分直接償却を実施した場合)	266,155	266,155				
合計	平成16年9月期	269,970	269,970				
	(部分直接償却を実施した場合)	264,474	264,474				

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、自己査定において、破綻先又は実質破綻先に区分された債権です。(破綻先とは、破産、清算、会社整理、会社更生、民事再生、手形交換所の取引停止処分等の事由により経営破綻の事実が発生している債務者をいいます。実質破綻先とは、法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり、実質的に経営破綻に陥っている債務者をいいます。)
2. 「危険債権」とは、自己査定において、破綻懸念先に区分された債権です。(破綻懸念先とは、現状、経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者をいいます。)
3. 「要管理債権」とは、自己査定において要管理先に区分された債権のうち、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する貸出金です。(要管理先とは、貸出条件・履行状況・財務内容等に問題があり、今後の管理に注意を要する債務者をいいます。)
4. 「正常債権」とは、要管理債権、危険債権、破産更生債権及びこれらに準ずる債権を除く債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づく担保の処分可能見込額及び保証等による回収が可能と認められる額です。また、要管理債権の「担保・保証等(B)」は、当該債権額と当該債務者の総債権額の比率按分により求めております。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。



各区分ごとに参考数値を記載しております。

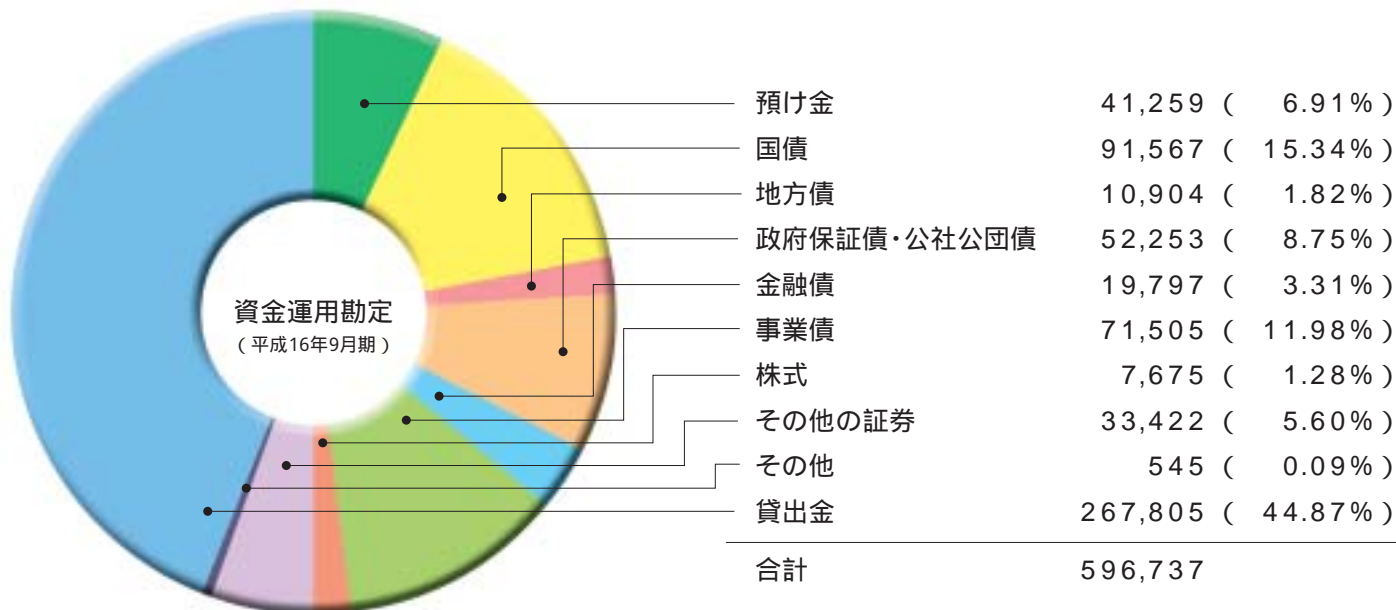
資金運用状況

(単位:百万円)

()内の数字は構成比です。

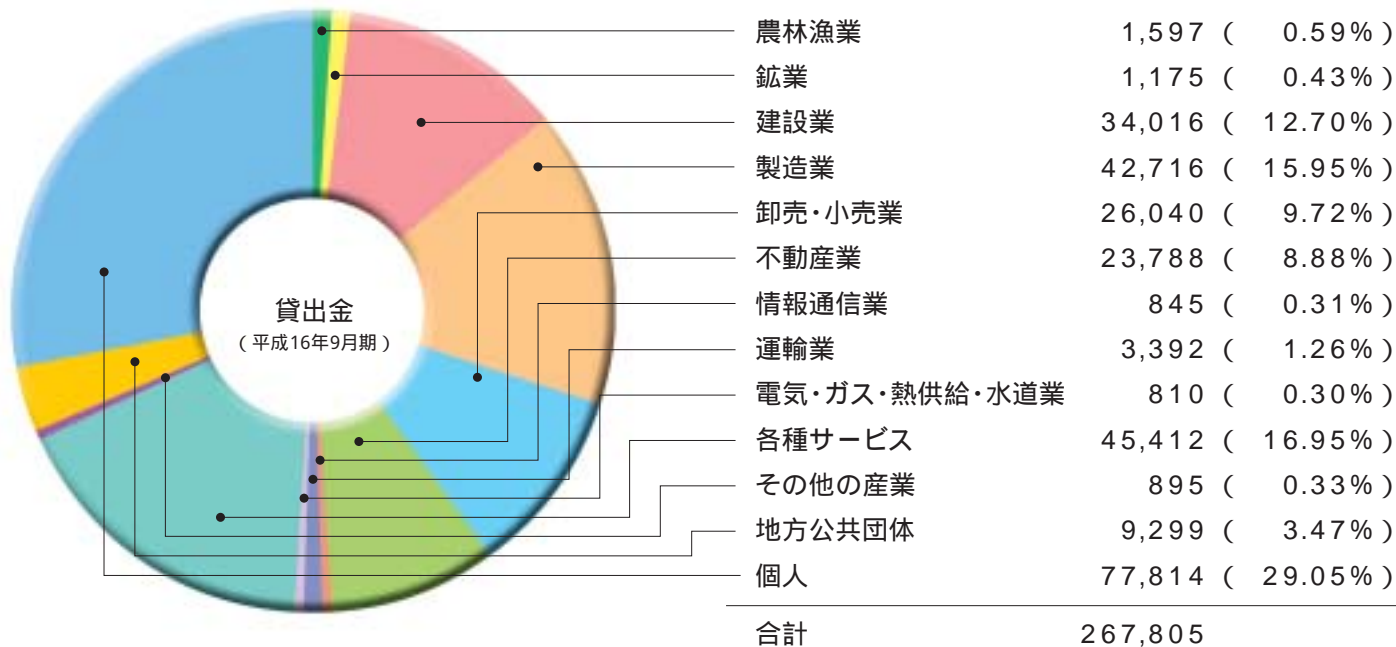
資金運用状況

有価証券運用は、安全性の高い債券を主体に運用しております。



貸出金業種別構成比

貸出金の業種別残高構成比は次のとおりになっております。



(注)業種別区分は改定後の日本標準産業分類の区分に基づき記載しております。

子会社等の状況

会社名	所在地	資本金	事業内容	設立年月日	当信用組合議決権比率	当信用組合子会社等議決権比率
株式会社けんしんビジネスサービス	長野市新田町1103-1	1,000万円	事務受託業務/人材派遣業務	平成3年5月15日	100%	0%

(注)子会社等は金融業務を行っておりません。また、当組合は子会社等に対する貸出金はありません。

主要経営諸指標〔資料〕

1. 貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 組 合 員 勘 定 の 部			
科 目	平成15年9月期	平成16年9月期	平成16年3月期	科 目	平成15年9月期	平成16年9月期	平成16年3月期
現金	10,460	9,350	9,730	預金積金	560,145	575,451	550,319
預け金	39,234	41,259	28,680	その他負債	3,670	4,009	1,683
有価証券	264,574	287,126	271,214	賞与引当金	407	406	333
貸出金	272,996	267,805	270,257	退職給付引当金	2,146	2,227	2,193
その他資産	6,100	6,181	2,915	役員退職慰労引当金	163	180	172
動産不動産	15,106	14,783	14,707	債務保証	2,269	1,872	2,069
繰延税金資産	5,391	4,078	4,933	負債計	568,802	584,147	556,773
債務保証見返	2,269	1,872	2,069	組合員勘定	33,128	36,311	34,352
貸倒引当金	14,201	12,000	13,384	出資金	1,068	1,068	1,068
(うち個別貸倒引当金)	(11,599)	(10,313)	(11,535)	利益剰余金	32,804	33,726	33,277
				株式等評価差額金	744	1,516	6
合計	601,930	620,459	591,125	合計	601,930	620,459	591,125

2. 損益計算書

(単位:百万円)

損 失 の 部				利 益 の 部			
科 目	平成15年9月期	平成16年9月期	平成16年3月期	科 目	平成15年9月期	平成16年9月期	平成16年3月期
経常費用	8,332	7,065	14,761	経常収益	8,945	7,749	16,165
資金調達費用	177	130	322	資金運用収益	6,469	6,295	12,828
預金積金利息	177	130	322	貸出金利息	4,251	4,001	8,403
その他の支払利息	0	0	0	預け金利息	17	24	38
役員取引等費用	315	342	644	有価証券利息配当金	2,178	2,247	4,364
その他業務費用	2,120	1,909	3,146	その他の受入利息	21	22	22
国債等債券売却損	773	1,907	773	役員取引等収益	281	293	576
国債等債券償却	1,337		2,361	その他業務収益	2,062	510	2,471
その他	9	1	12	国債等債券売却益	2,016	441	2,388
経費	4,473	4,301	8,704	その他	46	68	82
その他経常費用	1,244	382	1,943	その他経常収益	132	649	288
貸倒引当金繰入額	966	134	1,303	株式等売却益	132	649	253
貸出金償却			210	その他			35
株式等売却損	0	8	4	特別利益	33	23	55
株式等償却	41	60	27				
その他	236	178	397				
特別損失	11	13	38				
法人税、住民税及び事業税	763	9	956				
法人税等調整額	600	176	480				
中間純利益	471	507	944				
(3月期は当期純利益)							
合計	8,978	7,772	16,220	合計	8,978	7,772	16,220

(注) 保有株式及び転換社債の評価損は、全額を損失処理しております。また、外貨建債券は、為替差損について全額を損失処理しております。

3. 預金者別預金残高

(単位:百万円、%)

	平成15年9月期		平成16年9月期		平成16年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
個人預金	427,298	76.2	443,996	77.1	434,521	78.9
法人預金	132,847	23.7	131,455	22.8	115,798	21.0
一般法人	104,514	18.6	103,488	17.9	102,439	18.6
金融機関	3,928	0.7	3,410	0.5	3,353	0.6
公金	24,404	4.3	24,556	4.2	10,006	1.8
合計	560,145	100.0	575,451	100.0	550,319	100.0

4. 経営指標の推移

(単位:百万円)

		平成14年3月期	平成14年9月期	平成15年3月期	平成15年9月期	平成16年3月期	平成16年9月期
利益	経常収益	15,775	7,911	17,057	8,945	16,165	7,749
	業務純益	4,475	3,130	6,961	1,878	3,964	579
	経常利益	1,648	1,020	1,676	613	1,403	683
	中間純利益(3月期は当期純利益)	1,115	655	1,206	471	944	507
残高	預金積金残高	519,546	544,956	535,660	560,145	550,319	575,451
	貸出金残高	293,083	291,256	280,292	272,996	270,257	267,805
	有価証券残高	203,427	239,110	249,703	264,574	271,214	287,126
	総資産額	567,149	601,559	584,617	601,930	591,125	620,459
	純資産額	35,814	38,245	40,864	33,128	34,352	36,311
出資総額		1,068	1,068	1,068	1,068	1,068	1,068
職員数		721人	751人	718人	723人	693人	707人

5. 諸利回・諸比率

(単位:%)

	平成15年9月期	平成16年9月期	平成16年3月期
資金運用利回	2.26	2.15	2.23
経費率	1.64	1.53	1.59
資金調達原価率	1.70	1.58	1.64
総資金利鞘	0.56	0.57	0.59
預貸率(未残)	48.73	46.53	49.10
預証率(未残)	47.23	49.89	49.28
業務収支率	78.68	91.83	75.02

6. 有価証券の状況

(単位:百万円)

		平成16年9月期					
		残高	対平成16年3月期増減額	評価損益	対平成16年3月期増減額	うち評価益	うち評価損
保有目的別	満期保有目的	7,539	0	5	5	5	
	子会社・関連会社株式	10					
	その他有価証券	279,577	15,911	2,198	2,188	5,592	3,394
	合計	287,126	15,912	2,204	2,182	5,598	3,394
種類別	株式	7,675	1,372	992	513	992	
	債券	246,028	9,833	205	2,377	2,888	3,093
	その他	33,422	4,706	1,417	319	1,717	300

(注)1. 平成16年9月期の評価損益は、平成16年9月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
 2. 債券は、保有期間中の金利変動等により評価損益が増減しますが、満期日には額面金額で償還されます。
 3. デリバティブに関する取引はございません。

7. 平成17年3月期予想

当期純利益予想

当期純利益は、**11億円**を見込んでおります。

自己資本比率予想

自己資本比率は、**14%前後**を見込んでおります。

不良債権比率予想(リスク管理債権ベース)

不良債権比率は、**8%台**を見込んでおります。

(注)1. このミニディスクロージャーは「単体」で作成しております。

2. 本資料において掲載してある計数は、下記のとおり表示しております。

- (1)金額
単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。
- (2)構成比
小数点2位以下、または小数点3位以下を切り捨てて表示しているため、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。
- (3)諸利回・諸比率
小数点3位以下を切り捨てて2位まで表示しております。
- (4)主要経営指標「資料」における残高表示
残高が全くない場合は「」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示しております。

お問い合わせ先

〒380-8668 長野市新田町1103番地1
 総合企画部 TEL.026-233-2111(代)
 ホームページ http://www.naganokenshin.jp
 E-mail nkenshin@naganokenshin.jp

けんしん